

電波時計（デジタル置・掛兼用時計） 取扱説明書

取扱説明書番号 D033-CXXY

～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信してカレンダーと時刻を自動修正
- 明るいところではソーラー電源、暗いところではボタン電池で駆動してボタン電池の長寿命化
- 温度表示

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。つぎの記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、7年間で基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。（保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要で
アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。お問い合わせに際しては、製品番号(型番)「8RZ083」をお伝えください。

発売元

リズム時計工業株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

お問い合わせ先 お客様相談室 0120-557-005

受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。

本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。

(Y0809)

CITIZEN はシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。

安全にお使いいただくために（はじめにお読みください）

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示の説明について

表示内容を見逃して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

 この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 この表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

 この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

■誤飲による事故防止について

 小さな部品や電池は、幼児の手の届かぬ所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

 分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

分解禁止

 本製品は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

液晶表示板について

 表示部が破損して液晶が手などについた場合は、石鹸でよく洗い流してください。口や目に入ったときは、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けてください。

■使用場所について

 下記のような場所では使わないでください。
機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が+50℃以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃以下のところでは、プラスチックが劣化したり、電池の性能が低下することがあります。
- 浴室など湿気が多いところ。
- ほこりが多く発生するところ。
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
- プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

電源について ソーラー発電とボタン電池

この時計は、明るいところでは光発電で、暗いところではボタン電池で駆動します。光発電とボタン電池を併用することにより、電池寿命を5年以上(注)と長寿命化を図っています。
(注)1日に200ルクスの明るさで約8時間光発電する必要があります。

- 光発電によるボタン電池への充電は行ないません。
- ソーラーセルに直射日光を当てるとソーラーセルが劣化し、発電効率が低下します。
- 表示が薄くなったり、暗いところで停止するときはボタン電池の交換が必要です。

電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

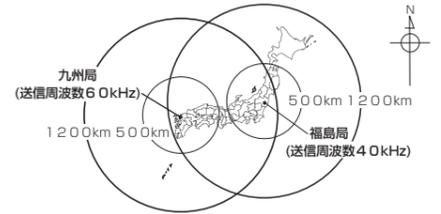
標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所あります。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。（http://jjy.nict.go.jp）



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

Ⓐ 電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF（無効にして手動で時刻を合わせる） 受信機能 ON（有効にして受信を開始する）

電波受信スイッチをOFFにしてください。

○カレンダーおよび時刻は手動で合わせてください。

電波受信スイッチをONにして、リセットボタンを押してください。受信を開始します。

○標準電波を定期的に受信して標準時刻に合わせます。

Ⓑ 強制受信とリセット操作

強制受信ボタン

場所を移動したときなど電波の受信を試みたいときに使います。受信に失敗しても継続して時刻を表示します。

○手動で時刻合わせをしているときは機能しません。

●電波受信スイッチがOFFのときは、強制受信ボタンまたはリセットボタンを押しても受信を開始しません。

リセットボタン

電源スイッチをONにした直後やボタン電池を交換した後、静電気などにより誤作動したときに押します。リセット直後は、2008年1月1日午前12:00に初期化されます。電波受信スイッチがONのときは受信を開始します。

Ⓒ 温度表示

センサーが時計内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。

測定範囲を超えたときの表示とその意味 「HH.H」50℃より高温 「LL.L」-9.9℃より低温

※本製品は室内用ですので、室内の温度計測以外の目的では使用できません。また厳密な温度管理を行う用途には適していません。

ボタン電池の廃棄

●廃棄するときは、お住まいの地区自治体の指定に従ってください。

 火に入れると破裂の原因になります。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのごよれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 掛けて使用した場合、静電気により時計や壁面が汚れることがあります。定期的に汚れをおとしてください。

時計の廃棄

●お住まいの地区自治体の指定にしたがってください。

静電気による誤作動について

静電気の影響により正常に機能なくなることがあります。このようなときにはリセットボタンを押してください。

おもな製品仕様

時間精度	●電波の受信に成功している場合(受信直後)表示精度 ±1秒 ●電波を受信しない場合平均月差 ±30秒(常温中のクォーツ精度)	標準電波	標準電波受信による時刻修正 福島局/九州局自動選択 自動電波受信回数 1日8回 標準電波受信機能ON/OFF切り替え
使用温度範囲	-10～+50℃ (注1)	表示	12時間/24時間制切り替え 時刻/日付表示位置切り替え
使用電池	ボタン電池 リチウム電池 CR2477 2個 ソーラーセル 薄膜太陽電池	カレンダー	2008～2099年 西暦、月日、曜日
電池寿命	ボタン電池のみで約4年 光発電とボタン電池との併用で5年以上 (注2)	温度表示	-9.9～+50℃ 温度精度±2℃

(注)1.液晶表示は0～40℃の温度範囲を超えると見えにくくなる場合があります。

(注)2.光発電を1日に200ルクスで8時間行なったとき、付属のボタン電池は工場出荷時に入れていますので、電池寿命が製品仕様より短いことがあります。

○液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して表示が見にくくなる場合があります。

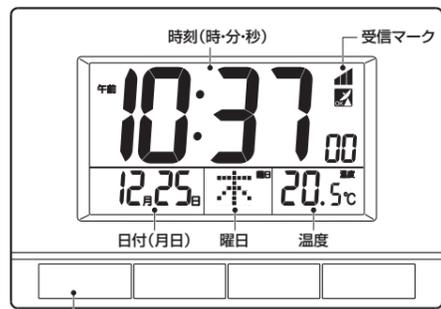
○ソーラーセルは室内用ですので直接太陽光などの強い光を受けると性能が低下します。

○製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

1 電波を受信して時刻を合わせる

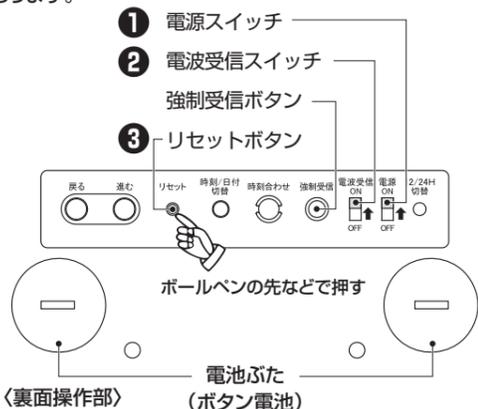
※図は操作説明用ですので実際のものとは異なることがあります。

液晶の特性として、見る角度によって、見えにくかったり、ムラに見えることがあります。



ソーラーセル
光が当たると発電します。影になったり、表面が汚れると発電効率が悪くなります。

【参考】
照度環境の目安
150ルクス 一般的なリビング
300ルクス 明るいリビング内・オフィス
700ルクス 明るいオフィス
③寝室や窓のないところでは十分な明るさが得られない場合があります。



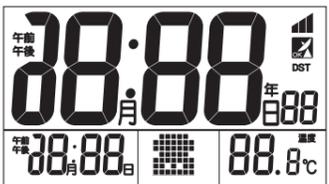
標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせるときには、**電波を受信できない場合**の「手動での時刻の合わせ方」をお読みください。

明るく電波の受信しやすい窓際などでご使用ください。

- 1 電源スイッチをONにする
◎液晶表示が点灯しないことがありますが、故障ではありません。リセットボタンを押すと表示されます。
 - 2 電波受信スイッチをONにする
 - 3 リセットボタンを押すと受信マークが点滅し受信を開始します
 - 4 受信結果を確認する
受信は最長で約20分続きます。受信マークで受信結果を確認してください。
☞【受信の流れと表示】参照
- ◎受信中はボタンやスイッチに触れないでください。

【受信の流れと表示】

〈リセットボタンを押した直後〉



※電源投入直後およびリセットボタンを押した直後は、2008年1月1日、午前12:00に設定されます。

受信マークの変化
電波の状態により変化します。(電波サーチ機能)

受信できない → 受信しやすい

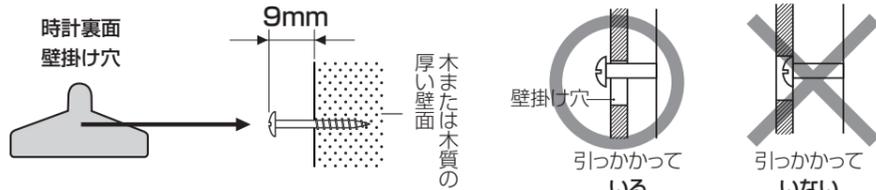
1 2 3 4

チェック!
1~2分経過しても1または2の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットボタンを押し、再度受信を開始させてください。

2 時計の設置

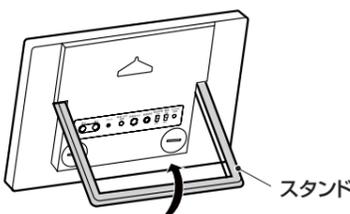
掛ける 強制 注意
掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。
- 掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、掛け具(木ねじ)に確実に掛かっていることを確認してください。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドア開閉時の振動などが伝わらないところに設置してください。
- 付属の木ねじを使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



- 上記以外の石膏ボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。
- 掛けて使用するときはスタンドをきっちり収納してください。

置く



置時計としてご使用になるときは、スタンドを図のようにしてください。無理な荷重を加えるとスタンドが外れたり、破損することがあります。
※水平で振動などが少ない安定したところに設置してください。

3 表示の切り替え

時刻/日付優先表示切り替え
時刻と日付の表示位置を切り替えることができます。

時刻優先表示 → 月日優先表示

12時間制表示 → 24時間制表示

12/24H切替ボタン
●表示の切り替えは電波の受信中および現在時刻の設定中はできません。

4 ボタン電池の交換

閉じる 開ける
電池ふた
ボタン電池 CR2477

暗くなると表示が薄くなったり、消えてしまう場合は、ボタン電池の交換が必要です。2つのボタン電池を交換してください。

- 電池ふたの▲印を●OPEN位置に回して取り外す。
- ボタン電池の+表示がある面を上にして入れる。
- 電池ふたの▲印を●CLOSEから●OPENに回して取り付ける。
- リセットボタンを押してください。

電池ふたを回すときはコインなどを使用してください。

電波を受信できない場合

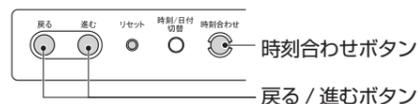
- 朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える / 受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわや、取扱説明書の日本地図を参考に送信所になるべく時計の正面または裏面が向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。

受信できない場合は、下記の操作でご使用になれます。

■ 手動での時刻の合わせ方

- 時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約2秒間押し続けます。
 - 進むまたは戻るボタンを押して数値を合わせます。
 - 進むまたは戻るボタンを押し続けると早送りまたは早戻しになります。
 - 時刻合わせボタンを押すとつぎのステップに移ります。
 - 西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定します。
 - ☞ **電波受信機能のON/OFF操作** 参照
- ※約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている時刻に設定して、手動時刻合わせを終了します。
※電波を受信できない場合は、平均月差±30秒になります。
- 時刻表示は12/24時間制がありますので、時刻を合わせるときに注意してください。
 - 電波の受信中に時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信を中止して時刻合わせ状態になります。

操作例. 2008年12月25日 午前10:37に合わせる



- 時刻合わせボタンを約2秒間押しつづけます。西暦年が点滅します。
- 進むまたは戻るボタンで「年」を「2008」に合わせます。時刻合わせボタンを押す。
- 進むまたは戻るボタンで「月」を「12」に合わせます。時刻合わせボタンを押す。
- 進むまたは戻るボタンで「日」を「25」に合わせます。時刻合わせボタンを押す。
- 進むまたは戻るボタンで「時」を「10」に合わせます。時刻合わせボタンを押す。
- 進むまたは戻るボタンで「分」を「37」に合わせます。このとき進むまたは戻るボタンを押すたびに秒は「00」秒に設定されます。時刻合わせボタンを押す。

電波を受信しにくい環境

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でご使用になるときは、電波受信スイッチをOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。電波受信スイッチがONの状態では、まれに日本の標準電波を受信したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。

標準電波の送信停止について
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状況については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

Q&A

- Q. なぜ電源スイッチがついているのか?
ボタン電池が消耗しないようにするためです。時計を長期間使用しないときは、電源スイッチをOFFにしてください。
- Q. 暗くなると表示が消えて止まる。
ボタン電池が消耗したためですので新しいものに交換してください。光発電してもボタン電池には充電されません。